

## Ⅶ 児童自立支援施設の年長児童の状況

### 1 年長児童の就学状況

今回の調査に回答を寄せてきた年長児童数は、1,019人であった。その内男子は629人(61.7%)、女子は387人(38.0%)、性別不詳が3人(0.3%)となっている。

また、児童自立支援施設入所児童の就学状況別の年長児童数は、表44のとおりである。

表44 児童自立支援施設の年長児童の就学状況

	総数	中3	中学卒	高1	高2	高3	高4	通信制	高校卒	専修学	公職訓	その他	不詳
総数	1,019 100.0%	739 72.5%	146 14.3%	51 5.0%	31 3.0%	20 2.0%	-	8 0.8%	2 0.2%	1 0.1%	6 0.6%	13 1.3%	2 0.2%
男	629 61.7% [100.0]	468 [74.4%]	73 [11.6%]	37 [5.9%]	19 [3.0%]	13 [2.1%]	-	4 [0.6%]	-	-	5 [0.8%]	9 [1.4%]	1 [0.2%]
女	387 38.0% [100.0]	270 [69.8%]	72 [18.6%]	14 [3.6%]	12 [3.1%]	7 [1.8%]	-	4 [1.0%]	2 [0.5%]	1 [0.3%]	1 [0.3%]	4 [1.0%]	-

注) 総数には、性別不詳を含む。

総数欄の%つきの数字は、就学状況の構成割合。[ ]内の数字は、就学状況別構成割合。

### 2 児童の生活行動経験

思いやりの行動や社会的自立に関わる行動として、児童養護施設と同様の項目で、それぞれについての経験の有無を聞いた。(質問項目については、参考を参照)

全項目中で最も多く経験しているのは「ク. 自分の気に入った洋服や持ち物を選んで買ったこと」の92.0%で、ほとんどの児童が経験しており、逆に少ないのは「キ. 一人で銀行や役所(区役所・市役所・町役場等)などで、手続きをしたこと」で21.3%の児童しか経験がない。

男女間で差の大きな項目は、「オ. 赤ちゃんをあやしたり、おむつの世話をしたこと」であり、女子が男子に比べて25.5ポイント大きくなっている。

「いじめ」に関しては、「コ. 大勢で1人をいじめてしまったこと」が44.6%(前回49.6%)、「サ. いじめを受けていたこと」が43.2%(前回40.1%)であり、いずれの項目についても、女子の比率が高いという結果になっている。

また、「虐待」に関しては、「シ. 虐待を受けたこと」が全体の31.2%(前回27.7%)であり、女子が男子より16.6ポイント高い結果となっている。

表45 児童自立支援施設の年長児童の経験状況

	実数	ア. ネコの世話	イ. 人を助ける	ウ. やりとあげる	エ. 旅行	オ. 赤ちゃん	カ. ボランティア	キ. 手続き	ク. 買う	ケ. アルバイト	コ. 大勢でいじめた	サ. いじめを受けていた	シ. 虐待を受けた
総数	1,019	79.0%	74.1%	78.0%	31.8%	56.6%	61.6%	21.3%	92.0%	27.8%	44.6%	43.2%	31.2%
男	629	78.2%	72.0%	80.3%	28.5%	46.9%	60.6%	17.2%	90.9%	22.6%	40.1%	35.3%	25.0%
女	387	80.6%	77.5%	74.4%	37.5%	72.4%	63.6%	27.9%	93.8%	36.2%	51.9%	56.1%	41.6%
中3	739	80.8%	72.0%	77.9%	34.2%	55.6%	59.1%	17.2%	93.5%	21.1%	47.4%	39.9%	26.1%
中学卒業	146	76.7%	81.5%	76.7%	28.1%	59.6%	67.8%	24.0%	87.0%	43.8%	41.1%	56.2%	38.4%
高校生等	132	72.7%	78.0%	81.1%	22.7%	59.8%	69.7%	40.9%	90.2%	47.0%	33.3%	47.0%	52.3%

注) 総数には、性別不詳・学年不詳を含む。

(参考) 表45の全質問項目一覧表

- 「ア. 犬、ネコなどや家畜などの世話をしたこと」
- 「イ. 困っている人を助けてあげたこと」
- 「ウ. 自分で決めた事(スポーツや勉強など)をやりとげ、よくやったなとうれしく思うこと」
- 「エ. 自分や友人たちと計画して、旅行したこと」
- 「オ. 赤ちゃんをあやしたり、おむつの世話をしたこと」
- 「カ. ボランティアをしたこと」
- 「キ. 一人で銀行や役所(区役所・市役所・町役場等)などで、手続きをしたこと」
- 「ク. 自分の気に入った洋服や持ち物を選んで買ったこと」
- 「ケ. アルバイトやパートタイムの仕事をしたこと」
- 「コ. 大勢で1人をいじめてしまったこと」
- 「サ. いじめを受けていたこと」
- 「シ. 虐待を受けたこと」

### 3 大切なこと

児童養護施設と同様に、大切なことと思うものについて回答してもらった(質問項目については参考を参照)。

最も選択率の高かったものは、「2. 家族で仲良く生活すること」の60.3%(前回60.3%)で、次いで「4. 友達がたくさんいること」の50.9%(前回49.3%)、「5. 健康であること」の45.1%(前回44.6%)となっている。

逆に、最も選択率の低かったものは、「1. 勉強ができること」の7.3%(前回6.8%)で、次いで「8. 人のいやがる事をすすんでやること」の9.2%(前回9.5%)、「3. お金がたくさんあること」の20.3%(前回22.6%)となっている。

男女間で差の大きい項目は、「4. 友達がたくさんいること」で男子が女子より8.5ポイント高いのに対し、「3. お金がたくさんあること」では女子が10.7ポイント、「9. 勇気を持っていること」では女子が9.1ポイント男子より高くなっている。

表46 児童自立支援施設の年長児童の大切なこと(3つ選択)

	実数	1. 勉強	2. 家族	3. お金	4. 友達	5. 健康	6. 特技	7. 夢	8. すすんで やる	9. 勇気	10. 仕事
総数	1,019	7.3%	60.3%	20.3%	50.9%	45.1%	20.9%	37.9%	9.2%	21.3%	22.4%
男	629	7.6%	61.2%	16.2%	54.2%	44.8%	22.9%	37.5%	9.2%	17.8%	23.8%
女	387	6.7%	58.9%	26.9%	45.7%	45.7%	17.8%	38.8%	9.3%	26.9%	19.9%
中3	739	8.3%	61.8%	20.0%	52.1%	44.8%	21.2%	37.6%	8.3%	20.7%	21.1%
中学卒業	146	4.1%	62.3%	17.8%	41.8%	43.2%	19.9%	41.1%	15.1%	23.3%	28.8%
高校生等	132	5.3%	50.0%	25.0%	55.3%	50.0%	20.5%	36.4%	8.3%	22.0%	22.7%

注) 総数には、性別不詳・学年不詳を含む。

(参考) 表46の質問項目一覧

- 「1. 勉強ができること」
- 「2. 家族で仲良く生活すること」
- 「3. お金がたくさんあること」
- 「4. 友達がたくさんいること」
- 「5. 健康であること」
- 「6. 運動や歌などで、何か得意なもの(特技)があること」
- 「7. 将来に夢を持っていること」
- 「8. 人のいやがる事をすすんでやること」
- 「9. 勇気を持っていること」
- 「10. 安定した仕事をする事」

#### 4 高等学校(各種学校)進学希望

児童自立支援施設入所児童のうち、中学3年生の高等学校または各種学校への進学希望は、表47のとおりである。

調査の時点で進学を希望する児童の割合は77.4%(前回68.0%)、まだ考えていない児童7.2%(前回7.5%)、進学を希望していない児童は14.9%(前回23.4%)となっており、前回調査に比べ進学希望が大幅に増加している。

性別では、女子の方が、男子に比べ進学希望が5.9ポイント高い。

**表47 児童自立支援施設の年長児童の高等学校(各種学校)進学希望**

	実数	希望する	考えていない	希望しない	不詳
中学3年生	739	77.4%	7.2%	14.9%	0.5%
男	468	75.2%	7.5%	16.5%	0.9%
女	270	81.1%	6.7%	12.2%	-

注) 総数には、性別不詳を含む。

#### 5 大学(短大)進学希望

中3以上の年長児童全員の大学または短期大学への進学希望は、表48のとおりである。

大学(短大)進学希望者の割合は23.5%(前回12.4%)、考えていない33.1%(前回31.7%)、希望しない41.5%(前回52.6%)となっており、前回調査より進学希望が増加している。性別では高等学校(各種学校)同様、女子の方が男子に比べ進学希望が7.1ポイント高い。

**表48 児童自立支援施設の年長児童の大学(短大)進学希望**

	実数	希望する	考えていない	希望しない	不詳
総数	1,019	23.5%	33.1%	41.5%	2.0%
男	629	20.8%	33.4%	43.6%	2.2%
女	387	27.9%	32.3%	38.5%	1.3%
中3	739	22.6%	34.6%	41.3%	1.5%
中学卒業	146	19.9%	37.7%	41.1%	1.4%
高校生等	132	32.6%	18.9%	43.9%	4.5%

注) 総数には、性別不詳・学年不詳を含む。

## 6 将来の希望 (1) -職業-

児童養護施設と同様に、将来やりたい職業について選択した結果が表 49 である。

男子では、「大工・建設業」19.6% (前回 27.5%)、「スポーツ・芸能・芸術」8.9% (前回 8.9%)、「飲食業」8.3% (前回 8.0%) などが上位を占めている。女子では、「学校の先生や保育士・看護師など」17.1% (前回 16.9%)、「美容師・理容師」10.3% (前回 14.4%)、「飲食業・調理等」8.0% (前回 9.9%) が上位を占めている。

女子の希望で男子と異なる特徴は、「美容師・理容師」、「学校の先生や保育士・看護師など」、「商店・デパート等に勤める」の割合が高くなっており、「大工・建設業」、「運転手・パイロット等」、「工場に勤める」の割合が低くなっている。

表 49 児童自立支援施設の年長児童の将来の希望 (職業)

	実数	会社や役所に勤める	工場に勤める	商店・デパートに勤める	農業 漁業 林業 酪農等	先生 保育士 看護師等	運転手 船乗り パイロット等	美容師 理容師	飲食業 調理等	スポーツ・ 芸能・ 芸術	警察・ 消防・ 自衛官	大工・ 建築業	新聞記者・ アナウンサー	医者・ 弁護士	その他	未決
総数	1,019	2.6%	3.4%	3.5%	2.9%	9.4%	3.5%	6.0%	8.2%	7.9%	1.5%	12.4%	0.1%	1.3%	19.0%	16.6%
中3	739	2.3%	3.8%	3.0%	2.4%	9.7%	4.1%	6.5%	7.7%	8.0%	1.5%	14.3%	0.1%	1.4%	16.9%	17.2%
中学卒業	146	3.4%	1.4%	5.5%	5.5%	8.2%	1.4%	6.2%	11.6%	8.2%	-	6.8%	-	-	23.3%	16.4%
高校生等	132	3.8%	3.8%	4.5%	3.0%	9.1%	3.0%	3.0%	7.6%	6.8%	3.0%	7.6%	-	2.3%	26.5%	12.9%
男	629	2.5%	5.1%	2.1%	4.0%	4.8%	5.6%	3.2%	8.3%	8.9%	2.2%	19.6%	-	1.1%	13.8%	17.5%
中3	468	1.9%	5.6%	1.7%	3.0%	5.8%	6.2%	3.4%	7.5%	9.4%	2.1%	22.0%	-	0.9%	12.2%	17.5%
中学卒業	73	4.1%	1.4%	2.7%	9.6%	1.4%	2.7%	5.5%	12.3%	9.6%	-	13.7%	-	-	13.7%	20.5%
高校生等	87	4.6%	5.7%	3.4%	4.6%	2.3%	4.6%	-	9.2%	5.7%	4.6%	11.5%	-	3.4%	23.0%	13.8%
女	387	2.8%	0.8%	5.9%	1.3%	17.1%	0.3%	10.3%	8.0%	6.2%	0.3%	0.8%	0.3%	1.6%	27.6%	15.2%
中3	270	3.0%	0.7%	5.2%	1.5%	16.7%	0.4%	11.5%	8.1%	5.6%	0.4%	1.1%	0.4%	2.2%	25.2%	16.7%
中学卒業	72	2.8%	1.4%	8.3%	1.4%	15.3%	-	6.9%	9.7%	6.9%	-	-	-	-	33.3%	12.5%
高校生等	45	2.2%	-	6.7%	-	22.2%	-	8.9%	4.4%	8.9%	-	-	-	-	33.3%	11.1%

注) 総数には、性別不詳・学年不詳を含む。

## 7 将来の希望 (2) -家庭復帰、結婚、自立-

もとの家庭への復帰希望、結婚への願望、施設から出て自活する自信の有無について聞いた結果が表 50 である。

早くもとの家庭へ復帰したい児童は 74.7% (前回 78.0%)、早く結婚して落ち着いた家庭を作りたいと答えた児童は 54.1% (前回 52.2%)、施設を出て、自分で生活することに自信があると答えた児童は 51.9% (前回 58.3%) となっている。

表 50 児童自立支援施設の年長児童の将来の希望 (家庭復帰、結婚、自立)

	実数	家庭復帰	結婚したい	生活していく自信
総数	1,019	74.7%	54.1%	51.9%
男	629	76.3%	52.0%	53.6%
女	387	72.4%	57.9%	49.1%
14歳	74	86.5%	58.1%	50.0%
15歳	623	81.5%	55.4%	53.9%
16歳	158	61.4%	48.1%	50.6%
17歳	69	46.4%	49.3%	36.2%
18歳以上	32	28.1%	53.1%	53.1%

注) 総数には性別不詳、年齢不詳を含む。

## 8 友人関係

友人関係について、「親身になってくれるともだちがいますか」という質問に対して、「いる」という回答をした年長児童は60.8%（前回57.2%）、「いない」は10.9%（前回11.1%）、「わからない」は27.4%（前回28.3%）であった。

**表5 1 児童自立支援施設の年長児童の友人関係**

	実数	いる	いない	わからない	不詳
総数	1,019	60.8%	10.9%	27.4%	0.9%
男	629	58.8%	11.0%	29.6%	0.6%
女	387	64.3%	10.9%	23.8%	1.0%
14歳	74	59.5%	10.8%	29.7%	-
15歳	623	61.2%	10.3%	27.8%	0.8%
16歳	158	58.9%	12.0%	27.8%	1.3%
17歳	69	52.2%	17.4%	29.0%	1.4%
18歳以上	32	75.0%	12.5%	12.5%	-

注) 総数には性別不詳、年齢不詳を含む。